お台場旧防波堤（鳥の島 2 島）における鳥類のモニタリング調査
秋季調査（10 月）報告書

平成 30 年 11 月　一般社団法人　お台場海づくり協議会

１．調査目的

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

２．調査対象地域

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）2 島及び周辺水域（周辺 50 m 程度）

３．調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1　調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成 30 年 10 月 23 日（火）	8：00～14：00	曇り時々小雨

４．調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。

（1）　船上センサス

鳥の島の 2 島の 50 m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）　ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50 m（両側 100 m）とした。

（３） 定点観察調査

2 島の各 2 点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は 50 m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

（４） 任意観察調査

鳥の島の 2 島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

船上センサス

ラインセンサス

定点観察調査

任意観察調査

写真 1　各調査手法における調査風景

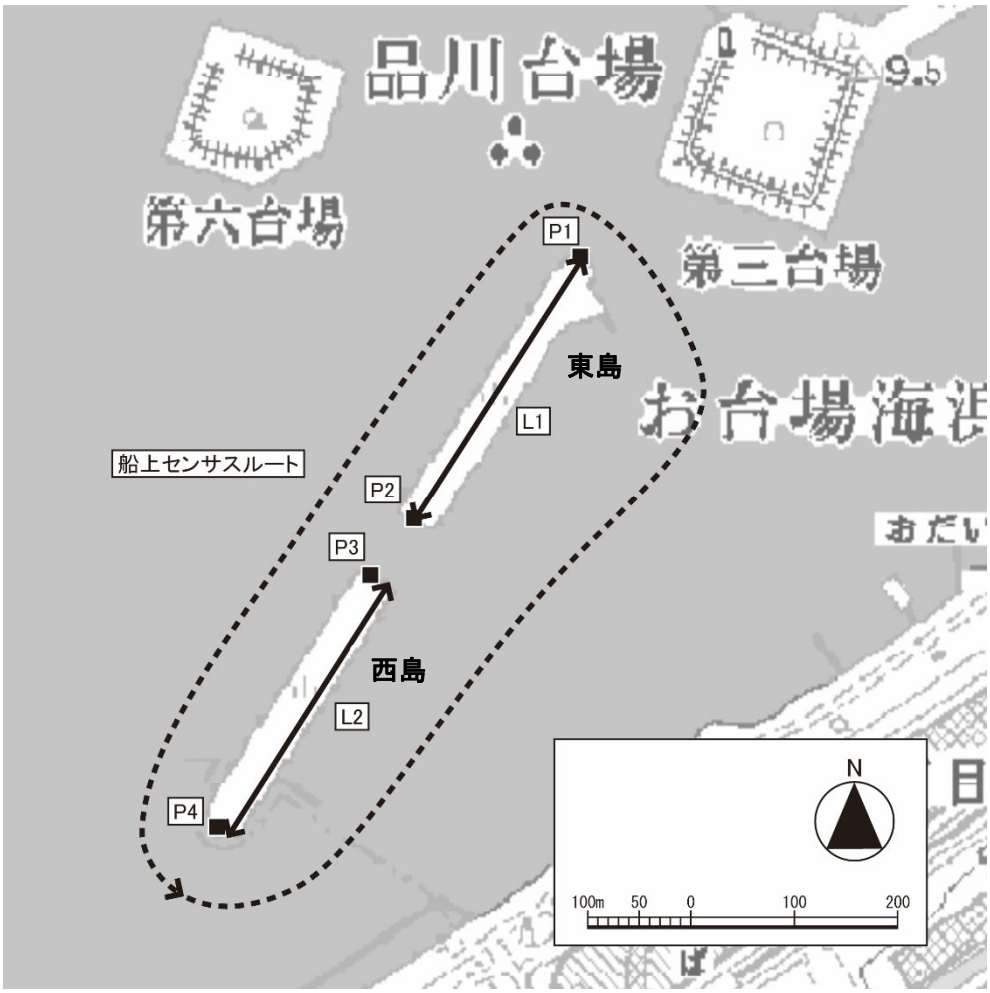

図 1　調査地点図

５．調査結果[1]

（１） 現地調査結果

- 現地調査の結果、8 目 19 科 28 種が確認された（表 2)。
- 確認種の半数は水域やその周辺に生息する鳥類であり、カルガモやユリカモメ、ハクセキレイなど 14 種が確認された。島内の樹林では、ヒヨドリやウグイス、カワラヒワなど森林やその周辺に生息する鳥類が 7 種確認された。そのほか、猛禽類であるトビやハヤブサ、都市部でも見られるキジバトやハシブトガラス、スズメなどが確認された。
- 渡り区分別にみると、カルガモやスズメなどの留鳥（ある地域で一年中見られる種）が多く、コガモやスズガモなどの冬鳥（ある地域で冬に見られる種）や、オオムシクイのような旅鳥（ある地域で渡りの時期に一時的に見られる種）も確認された。

[1] 従来報告書では北東側の島を「島の北側」、南西側の島を「島の南側」として表記してきたが、本報告書以降は北東側の島を「東島」、南西側の島を「西島」として表現を改める。

- 重要種はスズガモ、コサギ、イソシギ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ハヤブサ、モズ、オオムシクイ、イソヒヨドリの合計 10 種が確認された（表 2)。島内では、樹林にとまるトビやオオタカが確認されたほか、低木林で採餌するモズ、藪周辺で採餌するオオムシクイ、護岸周辺にとまるイソシギやイソヒヨドリ、島上空を飛翔するコサギが確認された。島周辺の海域では、群れで遊泳するスズガモや、飛翔するミサゴ、ハンティングを行うハヤブサが確認された。
- 確認した重要種のうち、特に選定基準上の重要度が高い種としては、ミサゴ、オオタカ、ハヤブサの 3 種が挙げられる。オオタカは東京都の絶滅危惧 IA 類、ミサゴとハヤブサは絶滅危惧 IB 類に該当する。
- 外来種はドバト 1 種が確認された（表 2)。
- 確認個体数が特に多かった種はスズガモ、カワウ、ヒヨドリの 3 種であった。スズガモは、船上センサスでは 2 島で合計 22 個体（表 3)、定点観察調査では 2 島で合計 55 個体（表 5）が確認された。カワウは、船上センサスでは 2 島で合計 72 個体（表 3) が確認された。ヒヨドリは、ラインセンサスでは 2 島で合計 48 個体が確認され、優占度は東島で 43%、西島で 49%を占めた（表 4）ほか、定点観察調査では 2 島で合計 57 個体（表 5）が確認された。

（2） 前回調査との比較

- 平成 29 年の秋季（10 月）～平成 30 年の夏季（7 月）までの調査を第 3 回、平成 30 年の秋季以降の調査を第 4 回とし、第 3 回と第 4 回の秋季調査の結果を比較した。表 6 に確認種の比較、表 7～9 は手法別に、表 7 に船上センサス結果、表 8 にラインセンサス結果、表 9 に定点観察調査結果の比較をそれぞれ示した。確認種数は、第 3 回では東島で 21 種、西島で 28 種、合計 30 種、第 4 回では東島で 23 種、西島で 22 種、合計 28 種であった（表 6)。第 3 回の確認種（30 種）のうち、7 割の種（21 種）は第 4 回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 今回の調査で初めて記録された種はコガモとオオムシクイの 2 種であった（表 10)。コガモは船上センサス中、護岸付近から海域へと飛翔する個体が確認された。本種は冬鳥であり、従来対岸のお台場海浜公園側（調査範囲外）で散見されていたが、こうした個体の一部が一時的に出現したものと考えられる。オオムシクイは、西島の樹林周辺で、藪と樹上を行き来し採餌する個体が確認された。本種は旅鳥であり、渡りの途中で一時的に出現したものと考えられる。
- 外来種のドバトが確認されたのは第 1 回以来となる（表 10)。今回は、東島の護岸にとまる 1 個体が確認されたのみであり、一時的な飛来と考えられる。
- ラインセンサス結果と定点観察調査結果の比較から、スズメの減少が認められた。島内の環境を昨年と比較すると、本年は草刈によって高茎草地がほぼみられなくなった。昨年は高茎草地が発達しており、ヒユ科植物やイタドリ、センダングサ類の種子

を採餌するスズメが多数確認されていた。今回の調査でスズメが少なかった要因として、餌場となる高径草地の一時的な消失が考えられる。

表 2　鳥類確認種目録

No.	目	科	種	調査時期		重要種選定基準			
				秋季(10 月)		①	②	③	④
				東島	西島				
1	カモ	カモ	マガモ	○					
2			カルガモ	○	○				
3			コガモ	○					
4			スズガモ	○	○				留意
5	ハト	ハト	キジバト	○	○				
6	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
7	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
8			コサギ	○					VU
9	チドリ	シギ	イソシギ	○	○				VU
10		カモメ	ユリカモメ	○	○				
11			ウミネコ	○	○				
12			セグロカモメ	○	○				
13	タカ	ミサゴ	ミサゴ		○			NT	EN
14		タカ	トビ	○	○				NT
15			オオタカ		○			NT	CR
16	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		○		国内	VU	EN
17	スズメ	モズ	モズ	○	○				VU
18		カラス	ハシブトガラス	○	○				
19		シジュウカラ	シジュウカラ	○					
20		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
21		ウグイス	ウグイス	○					
22		ムシクイ	オオムシクイ		○			DD	
23		ヒタキ	ジョウビタキ	○	○				
24			イソヒヨドリ		○				DD
25		スズメ	スズメ	○	○				
26		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
27		アトリ	カワラヒワ	○	○				
28	ハト	ハト	ドバト	○					
合計	8 目	19 科	28 種	23 種	22 種	0 種	1 種	4 種	9 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年、日本鳥学会）に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）

天：天然記念物　特：特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年、法律第 75 号；平成 23 年改訂）

国内：国内希少野生動物　国際：国際希少野生動物

③「第 5 次レッドリストの公表について」（平成 30 年、環境省）における掲載種

EX：絶滅　EW：野生絶滅　CR：絶滅危惧 IA 類　EN：絶滅危惧 IB 類　VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧種　DD：情報不足　LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)～」（平成 25 年、東京都）における区部の掲載種

EX：絶滅　EW：野生絶滅　CR：絶滅危惧 IA 類　EN：絶滅危惧 IB 類　VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧　DD：情報不足　留意：留意種

表 3　船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計個体数
				秋季（10 月）		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	カルガモ	2	4	6
2			コガモ	1	0	1
3			スズガモ	0	22	22
4	カツオドリ	ウ	カワウ	64	8	72
5	ペリカン	サギ	アオサギ	20	0	20
6	チドリ	シギ	イソシギ	0	1	1
7		カモメ	ユリカモメ	1	1	2
8			ウミネコ	0	1	1
9			セグロカモメ	1	2	3
10	タカ	タカ	トビ	3	1	4
11			オオタカ	0	1	1
12	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	0	1	1
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	1	4	5
14		ヒヨドリ	ヒヨドリ	6	2	8
15		ヒタキ	ジョウビタキ	0	1	1
16		スズメ	スズメ	3	0	3
17		セキレイ	ハクセキレイ	1	2	3
18		アトリ	カワラヒワ	3	0	3
合計	7 目	13 科	18 種	106	51	157

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年、日本鳥学会）に準拠した。

表 4　ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計個体数
				秋季(10 月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カモ	カモ	マガモ	2	3%	0	0%	2
2			カルガモ	13	21%	8	18%	21
3	ハト	ハト	キジバト	3	5%	2	4%	5
4	カツオドリ	ウ	カワウ	2	3%	0	0%	2
5	ペリカン	サギ	アオサギ	1	2%	1	2%	2
6	チドリ	シギ	イソシギ	1	2%	0	0%	1
7		カモメ	ユリカモメ	1	2%	1	2%	2
8			ウミネコ	2	3%	0	0%	2
9	タカ	タカ	トビ	0	0%	1	2%	1
10	スズメ	モズ	モズ	0	0%	1	2%	1
11		カラス	ハシブトガラス	0	0%	1	2%	1
12		シジュウカラ	シジュウカラ	8	13%	0	0%	8
13		ヒヨドリ	ヒヨドリ	26	43%	22	49%	48
14		ウグイス	ウグイス	1	2%	0	0%	1
15		ヒタキ	ジョウビタキ	0	0%	1	2%	1
16		スズメ	スズメ	0	0%	4	9%	4
17		セキレイ	ハクセキレイ	1	2%	0	0%	1
18		アトリ	カワラヒワ	0	0%	3	7%	3
合計	7 目	16 科	18 種	61	100%	45	100%	106
				12 種		11 種		18 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録　改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5　定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計個体数
				秋季（10 月）				
				東島		西島		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	マガモ	4	0	0	0	4
2			カルガモ	4	0	0	0	4
3			スズガモ	55	0	0	0	55
4	カツオドリ	ウ	カワウ	4	2	0	2	8
5	ペリカン	サギ	アオサギ	0	1	0	1	2
6			コサギ	0	1	0	0	1
7	チドリ	シギ	イソシギ	1	3	5	2	11
8		カモメ	ユリカモメ	3	3	2	18	26
9			ウミネコ	8	3	3	29	43
10			セグロカモメ	0	1	1	0	2
11	スズメ	モズ	モズ	1	1	0	0	2
12		カラス	ハシブトガラス	2	1	2	2	7
13		ヒヨドリ	ヒヨドリ	10	20	27	0	57
14		ヒタキ	イソヒヨドリ	0	0	0	1	1
15		スズメ	スズメ	2	2	0	0	4
16		セキレイ	ハクセキレイ	2	1	1	0	4
17	ハト	ハト	ドバト	1	0	0	0	1
合計	6 目	12 科	17 種	97	39	41	55	232

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年、日本鳥学会）に準拠した。

表 6　前回調査結果との比較（秋季）

No.	種名	調査時期			
		秋季（10 月）			
		第 3 回（H29～H30）		第 4 回（H30～）	
		東島	西島	東島	西島
1	マガモ			○	
2	カルガモ	○	○	○	○
3	コガモ			○	
4	ホシハジロ		○		
5	スズガモ		○	○	○
6	キジバト	○	○	○	○
7	カワウ	○	○	○	○
8	アオサギ	○	○	○	○
9	コサギ			○	
10	オオバン	○	○		
11	イソシギ	○	○	○	○
12	ユリカモメ	○	○	○	○
13	ウミネコ	○	○	○	○
14	セグロカモメ		○	○	○
15	ミサゴ				○
16	トビ	○	○	○	○
17	オオタカ	○			○
18	カワセミ		○		
19	ハヤブサ		○		○
20	モズ	○	○	○	○
21	オナガ	○	○		
22	ハシブトガラス	○	○	○	○
23	シジュウカラ	○	○	○	
24	ヒバリ		○		
25	ヒヨドリ	○	○	○	○
26	ウグイス		○	○	
27	オオムシクイ				○
28	メジロ	○	○		
29	ジョウビタキ	○	○	○	○
30	イソヒヨドリ				○
31	キビタキ	○			
32	スズメ	○	○	○	○
33	ハクセキレイ	○	○	○	○
34	タヒバリ		○		
35	カワラヒワ	○		○	○
36	アオジ		○		
37	ドバト			○	
合計	37 種	21 種	27 種	23 種	22 種
		30 種		28 種	

表 7　前回調査との比較：船上センサス結果（秋季）

No.	種名	調査時期			
		秋季（10 月）			
		第 3 回（H29～H30）		第 4 回（H30～）	
		東島	西島	東島	西島
1	カルガモ	5	4	2	4
2	コガモ	0	0	1	0
3	ホシハジロ	0	3	0	0
4	スズガモ	0	20	0	22
5	キジバト	0	2	0	0
6	カワウ	2	13	64	8
7	アオサギ	25	2	20	0
8	オオバン	0	2	0	0
9	イソシギ	0	2	0	1
10	ユリカモメ	0	0	1	1
11	ウミネコ	0	1	0	1
12	セグロカモメ	0	0	1	2
13	トビ	0	1	3	1
14	オオタカ	1	0	0	1
15	カワセミ	0	1	0	0
16	ハヤブサ	0	0	0	1
17	モズ	0	1	0	0
18	ハシブトガラス	4	1	1	4
19	ヒヨドリ	0	62	6	2
20	メジロ	2	0	0	0
21	ジョウビタキ	0	0	0	1
22	スズメ	0	0	3	0
23	ハクセキレイ	0	0	1	2
24	カワラヒワ	7	0	3	0
合計個体数		46	115	106	51
合計島別種数		7 種	14 種	12 種	14 種
合計種数		17 種		18 種	

表 8　前回調査との比較：ラインセンサス結果（秋季）

No.	種名	調査時期							
		秋季（10 月）							
		第 3 回（H29～H30）				第 4 回（H30～）			
		L1（東島）		L2（西島）		L1（東島）		L2（西島）	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	マガモ	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
2	カルガモ	0	0%	0	0%	13	21%	8	18%
3	キジバト	4	6%	1	1%	3	5%	2	4%
4	カワウ	3	5%	2	2%	2	3%	0	0%
5	アオサギ	0	0%	0	0%	1	2%	1	2%
6	イソシギ	1	2%	0	0%	1	2%	0	0%
7	ユリカモメ	4	6%	2	2%	1	2%	1	2%
8	ウミネコ	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
9	トビ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
10	モズ	1	2%	0	0%	0	0%	1	2%
11	オナガ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
12	ハシブトガラス	4	6%	2	2%	0	0%	1	2%
13	シジュウカラ	1	2%	0	0%	8	13%	0	0%
14	ヒバリ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
15	ヒヨドリ	17	26%	68	69%	26	43%	22	49%
16	ウグイス	0	0%	1	1%	1	2%	0	0%
17	メジロ	2	3%	5	5%	0	0%	0	0%
18	ジョウビタキ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
19	スズメ	24	37%	14	14%	0	0%	4	9%
20	ハクセキレイ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
21	カワラヒワ	2	3%	0	0%	0	0%	3	7%
22	アオジ	0	0%	3	3%	0	0%	0	0%
合計	22 種	65	100%	99	100%	61	100%	45	100%
		12 種		10 種		12 種		11 種	

表 9　前回調査との比較：定点観察調査結果（秋季）

No.	種名	調査時期															
		秋季（10 月）															
		第 3 回（H29～H30）								第 4 回（H30～）							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	マガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	4%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	5	7%	8	30%	3	7%	1	3%	4	4%	0	0%	0	0%	0	0%
3	スズガモ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	55	57%	0	0%	0	0%	0	0%
4	カワウ	7	10%	3	11%	0	0%	3	8%	4	4%	2	5%	0	0%	2	4%
5	アオサギ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%
6	コサギ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
7	オオバン	0	0%	0	0%	0	0%	5	13%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8	イソシギ	0	0%	3	11%	1	2%	1	3%	1	1%	3	8%	5	12%	2	4%
9	ユリカモメ	10	14%	0	0%	0	0%	6	15%	3	3%	3	8%	2	5%	18	33%
10	ウミネコ	1	1%	0	0%	2	5%	0	0%	8	8%	3	8%	3	7%	29	53%
11	セグロカモメ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	3%	1	2%	0	0%
12	トビ	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
13	モズ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	1	3%	0	0%	0	0%
14	オナガ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	ハシブトガラス	5	7%	0	0%	0	0%	5	13%	2	2%	1	3%	2	5%	2	4%
16	シジュウカラ	2	3%	0	0%	2	5%	5	13%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	ヒヨドリ	15	22%	5	19%	22	51%	14	35%	10	10%	20	51%	27	66%	0	0%
18	ウグイス	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
19	メジロ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	ジョウビタキ	3	4%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
21	イソヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
22	スズメ	15	22%	3	11%	8	19%	0	0%	2	2%	2	5%	0	0%	0	0%
23	ハクセキレイ	3	4%	2	7%	1	2%	0	0%	2	2%	1	3%	1	2%	0	0%
24	カワラヒワ	0	0%	3	11%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
25	ドバト	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	25 種	69	100%	27	100%	43	100%	40	100%	97	100%	39	100%	41	100%	55	100%
		12 種		7 種		11 種		8 種		13 種		12 種		7 種		7 種	

表 10（1）　鳥類確認種目録（第 1 回～第 4 回）

No.	種名	調査時期							
		第 1 回（H27 夏～28 春）		第 2 回（H28 秋～29 夏）		第 3 回（H29 秋～30 夏）		第 4 回（H30 秋～）	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		
2	マガモ		○	○	○		○	○	
3	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
4	オナガガモ				○	○	○		
5	コガモ							○	
6	ホシハジロ						○		
7	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
8	ウミアイサ		○						
9	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○		
10	ミミカイツブリ			○					
11	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○
13	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○
14	ゴイサギ					○			
15	ササゴイ		○						
16	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○
17	ダイサギ	○	○	○	○	○	○		
18	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	
19	オオバン	○	○	○	○	○	○		
20	コチドリ	○	○		○	○	○		
21	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○
22	キョウジョシギ					○	○		
23	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○
24	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○
25	カモメ	○	○			○			
26	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○
27	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○		
28	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		
29	ミサゴ	○		○			○		○
30	ハチクマ	○							
31	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○
32	ハイタカ		○		○				
33	オオタカ	○		○	○	○			○
34	ノスリ		○	○	○	○			
35	カワセミ			○			○		
36	チョウゲンボウ		○				○		
37	ハヤブサ			○	○	○	○		○
38	モズ			○	○	○	○	○	○
39	カケス				○				
40	オナガ			○	○	○	○		
41	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
42	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	
43	ヒバリ						○		

44	ツバメ	○	○	○	○	○	○		

表 10（2）　鳥類確認種目録（第 1 回～第 4 回）

No.	種名	調査時期							
		第 1 回（H27 夏～28 春）		第 2 回（H28 秋～29 夏）		第 3 回（H29 秋～30 夏）		第 4 回（H30 秋～）	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
45	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	
47	オオムシクイ								○
48	メジロ	○	○	○	○	○	○		
49	オオヨシキリ			○		○			
50	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		
51	コムクドリ				○	○			
52	シロハラ	○	○	○	○				
53	アカハラ	○			○				
54	ツグミ	○	○	○	○	○	○		
55	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○
56	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○
57	キビタキ	○				○			
58	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
59	キセキレイ			○					
60	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
61	セグロセキレイ				○				
62	タヒバリ						○		
63	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○
64	ホオジロ	○		○	○				
65	アオジ	○	○	○	○	○	○		
66	オオジュリン			○					
67	ドバト	○	○					○	
合計	67 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	44 種	23 種	22 種
		47 種		53 種		51 種		28 種	

<table>
<tr><td>
カルガモ</td><td>
スズガモ（重要種）</td></tr>
<tr><td>
アオサギ</td><td>
イソシギ（重要種）</td></tr>
<tr><td>
ユリカモメ</td><td>
ウミネコ</td></tr>
<tr><td>
トビ（重要種）</td><td>
オオタカ（重要種）</td></tr>
<tr><td>
モズ（重要種）</td><td>
ハシブトガラス</td></tr>
</table>

写真 2（1）　鳥の島で確認された主な鳥類

 シジュウカラ	 オオムシクイ（重要種）
 ジョウビタキ	 イソヒヨドリ（重要種）
 スズメ	 ハクセキレイ

写真 2（2）　鳥の島で確認された主な鳥類